

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内にて共有、実践している。	●		・研修会を開催し、経営理念及び経営目標を全社員向けに周知している。並行して、経営目標に対してのアクションを各部門長が発表し、目標達成に取り組んでいる。									8	9											17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・業種柄、法令を順守することが求められており、社内規定やマニュアルを検収、勉強会で等告知している。法令順守の重要性を、全従業員に周知した上で違反がないように取り組んでいる。																					16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に取り組んでいる。全従業員に向けてその重要性を発信している。															10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・ISO14001に加盟し、社内マネジメントを的確に実施するためにISO委員会を設置している。年次で監査(内部外部)を実施し、法令遵守の確保に取り組んでいる。																						16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・会社名、ロゴを商標登録し、ブランドを保護している。 ・取引先とNDAを締結し、情報漏洩を防いでいる。									8.2	9												16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・ファイアウォール、暗号化、アクセス制御などの技術的対策を導入して、個人情報の漏洩や不正アクセスを防止している。 ・個人情報が保存されている場所へのアクセスを制限し、物理的なセキュリティを確保している。																						16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・サステナビリティレポートを定期的に公開している。当社の事業が環境に対する影響がないかをチェックし、適宜対応している。																					16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性及生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・サプライヤーやパートナー企業と定期的にミーティングを行い、サステナビリティに関する課題や取り組み状況を共有している。					5				8		10		12	13	14	15	16	17				17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・防災訓練を年次で実施している。 ・ファイルサーバーをクラウドにシフトしている。											9			11								16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・主に事業や資産の相続対策を実施している。										8	9												17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●		・商品調達の際は各入札に参加し、法に基づいた対応を実施している。	1	2			5					8					12	13	14	15	16	17			17
労働・人権	12	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内での差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別やハラスメントに関する研修を実施している。 ・ハラスメント委員会を設置し、ハラスメント問題が大きくなる前に問題を発見、解決できる体制を構築している。				4.3	5.1			8.5												16.1		16.2	16.7
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全衛生管理者及び、安全衛生委員会を設置し定期的な定例会議及び月に1度の安全パトロールを実施している。			3					8.8															
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員・スタッフ・パート社員)の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5												10.2	10.3		
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理徹底や、業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取り組みを行っている。			3		5.5			8.5												10.3			
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・社員のスキルアップを全面支援するために、資格の取得費用を全額サポートしている。				4	5.5			8	9														
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。 ・毎週の朝礼時に交通事故等への注意喚起を行っている。			3					8															17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別の違いによる差別的待遇はない。				4.4	5.1	5.5			8.5														16.7
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・時差出勤の導入など、新しい働き方に対する労務管理体制を整備している。 ・ウェブ会議、定期的な空気の入替えなどを徹底している。			3						8	9.1			11	12									
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・AIを用いたペットボトルの選別を行い業務の効率化を図っている。 ・ITインフラ、基幹システムのリプレースやソフトウェアを導入することによってDXを推進している。									8	9.1			11	12									
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		・プライト企業の認定を受けている。			3	4					8	9				12									

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・エコアクション21を取得している。 ・ISO14001を取得している。 ・有害化学物質を把握し、適正な管理及び処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・エコアクション21を取得している。							7.3							13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・エコアクション21を取得している。			2.4				7.2 7.3 7.a						12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・水処理施設等を有し、生物多様性や生態系等に悪影響を及ぼさないように取り組んでいる。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・社内にリサイクル展示場を設けており、リユースによる廃棄物削減を行い機械、重機等を使用せず環境負荷の低減に取り組んでいる。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・社内のトイレや水場に「節水」の表示を掲げ水資源の保全に取り組んでいる。 ・車両洗車の際、一部雨水を利用した洗車を実施している。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・エコアクション21を取得している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・食品残渣による堆肥化施設の建設を計画している。		1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・緑のじゅうたんオフィシャルサポーターである。													11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・熊本県が推奨するバイオディーゼル燃料(BDF)を使用しトラックや重機の燃料としている。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・海と日本プロジェクトに参加しており、会社としても海洋プラに関係するプラスチックの事業を行っている。														12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・社用車にEV車を導入している。											9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		・カーボンニュートラルを目指す為にマテリアルリサイクルを事業としておりマテリアルできない廃棄物をサーマルリサイクルを行っている。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2

